

新しい(NEW)理想郷(UTOPIA)

NEW TOPIA

N.137

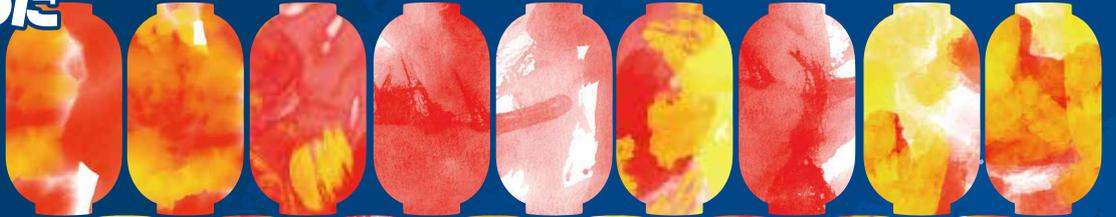
2023 10.15

岸和田市国際親善協会だより

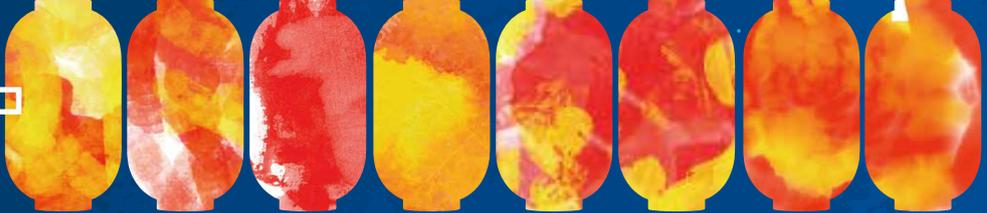
INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION OF KISHIWADA

にゅとぴあ岸和田

ifa-きしわだ



サンフランシスコ
国際マラソン
表敬訪問



やさしい日本語
「夜のだんじり祭り」



優しい
日本語研修会

WELCOME!
HOME VISIT



連載

English Open Café



久米田池
夏祭りに参加
しよう!

連載

世界の民族衣装
カンボジア編



Since 1989

ifa-きしわだ
岸和田市国際親善協会



表紙デザイン Shinako Abue

「にゅとぴあ岸和田」は世界の人びと、団体、都市との出会いを求め、ふれあいを大切にした親善・交流を通して互いの連帯を深め、世界の平和と繁栄、人びとの幸福の増進のための貢献を目的とした、岸和田市国際親善協会の活動記録とメッセージの発行物です。

ようこそ!

だんじり インフォメーションセンター

世界の国々から

笑顔 笑顔! 笑顔!!

4年ぶりの開催となった「だんじりインフォメーションセンター」。当センターを訪れた外国人観光客は、開催2日間で250人! 30もの国の人たちにお越しいたごき、法被装束の衣装に着替えて記念撮影を楽しんで頂きました。





世界から子供たちもやって来たヨ!



市長も激励に来て下さいました! ^o^



幸せイッパイ!新婚旅行で来てくれたカップルが2組同時にご来訪!



Making of

絞り鉢巻きに祭り装束で大変身!皆さん大喜びでした

だんじりインフォメーションセンター
来訪者 2023年

国名	16日	17日	合計
USA	10	13	23
オーストラリア	15	6	21
UK	5	11	16
スペイン	6	2	8
フランス	20	9	29
ドイツ	18	14	32
中国	6	1	7
台湾	6	8	14
香港	6	4	10
韓国	6	2	8
ベトナム	4	2	6
インドネシア	1	0	1
シンガポール	2	1	3
マレーシア	2	0	2
イタリア	2	5	7
カナダ	5	8	13
オランダ	9	3	12
イスラエル	2	5	7
デンマーク	7	1	8
メキシコ	1	4	5
ニュージーランド		5	5
コロンビア		2	2
リトアニア		2	2
スイス		2	2
クロアチア		2	2
インド		1	1
ナイジェリア		1	1
ルーマニア		1	1
セルビア		1	1
ブラジル		1	1
計	133	117	250

サンフランシスコマラソン 選手派遣

■岸和田市長表敬訪問 7月13日(木)

岸和田市の姉妹都市サウスサンフランシスコ市からの招待でサンフランシスコ国際マラソン大会に出場する運びとなった、サブスリー記録もある岸和田市民代表ランナーの縣喜樹(あがたよしき)さん。

当会会長・事務局長も同席した岸和田市長への表敬訪問では最初少し緊張していましたが、市長との対談は終始なごやかに進み、対談中は何度か「これが両市の交流の一端となりますように」ということを口にされていました。

現在はパラリンピック・ブラインドマラソン候補選手の伴走をし、選手と一緒に世界を目指し



親書を手し、永野市長と縣喜樹さん

ている縣さん。走り続けてきた延長にある、海の向こうの人々とのランニング交流を一番楽しみにされているようでした。

(広報部会 虻江詩奈子)

■サウスサンフランシスコ市を訪問して 7月23日(日)

私は岸和田市の姉妹都市であるサウスサンフランシスコ市のご招待で、7月21日から27日まで、サンフランシスコ国際マラソン出場と、サウスサンフランシスコ市との友好関係促進のために、当地に行かせてもらいました。マラソンの方は事前の膝の故障が完治せず、残念ながら完走できませんでした。

サウスサンフランシスコでは、姉妹都市委員会会長のフランクさんのご自宅にホームステイさせて頂き、アメリカの家庭の様子を見せてもらえた事は貴重な体験となりました。

市長表敬訪問では、両市の親書と記念品を交

換し、これから先もお互いの友好親善関係をさらに密接なものにしていきましょ



SSF市長と一緒に

うと、エールを交わすことができました。

また、姉妹都市委員会との交流に於いては、この10月に岸和田を訪問される方もいらっしゃいましたので、和気あいあいとした時間を過ごす事が出来ました。今から皆さんとの再会が待ち遠しいです。

(縣喜樹)

やさしい日本語を使いましょう。

よる まつ 夜のだんじり祭り

ひる だんじりは 町の中を とても はやく 走ります。

ま かがり角も 速度を そのままで まわります。

この「やしまわし」は とても 有名です。

しかし、夜は 200 個の 提灯を つけて とても美しいです。

子どもが 主人公になって ゆっくり 歩きます。

ひる よる 昼と 夜の だんじりは まったく ちがいます。

どちらも すばらしいです。



Shinako Abueさんが描いてくださった「だんじり提灯」のイラストが今号の表紙を飾ってくれています。

大阪府国際交流財団 (OFIX) ・大阪府共催

「やさしい日本語」研修会 07.10 月

OFIXの職員や大阪府庁の職員向け講習会に、当協会が作成した「やさしい日本語を使いましょう」の冊子が使われました。



最初に冊子の編集委員長の東田和代さんが外国人との実体験を交え、わかりやすい日本語を使うための工夫などを話されました。“日本人の丁寧な話し方#やさしい日本語”が印象に残っています。続いて当協会事務局長の西村令子さんが、冊子の作り方・出来た後の活用（市への寄贈・当協会ワークショップの様子など）について報告されました。

いよいよ実際に参加者同士によるグループワークの時間となります。たちまち行き詰った感じのグループと、いち早く冊子の例題を参考にして進めるグループもありましたが、時間とともに例題を「あでもない、こうでもない」と試行錯誤。初対面の参加者同士がほとんどでしたが、最後には各グループが発表し、意見交換の場となりました。

今後も日本で生活する外国人等が増えていくでしょうし、母国語でなくてもコミュニケーションをとる方法が分かる良い体験で、広まってほしいと思いました。（広報部会 田中洋子）

「やさしい日本語を使いましょう」冊子

日本語の用例を生活シーンに分けてわかりやすく掲載した冊子です。
★希望者は事務局にて手渡した場合は、HPから無料ダウンロード頂けます。



八木小 やさしい日本語研修 09.11 月

岸和田市の各所で目にするようになった『やさしい日本語を使いましょう』は、日本語学習者やそれらの皆さんと接する機会のある方たちから好評を得ています。岸和田市内の小学校では2校目となる研修会が八木小学校で行われました。



講師からの、先生方が日々学校で使っている“やさしい日本語”を用いて、さらに分かりやすく出来るのではないかと話から、皆さんは研修に入りやすかったように見受けられました。また、各教科を通して日本語を教えてあげられるのだと改めて気が付いたという声も聞かれました。

4人一組で、生活の様々な場面をやさしい日本語にするスキットの課題をしました。これが正解、というものはなく、通じていればいいんです。という講師からのフィードバックを聞いて先生方も自信を持たれたようです。また、「閲覧板」など、日本の文化的な側面も含めて日本語を理解してもらうことが大切であるという感想をいただきました。外国にルーツを持つ子どもたちも、皆同じように学びの機会が持てるように、そしてその子の持つ個性・特性を伸ばして、小学生を日本で過ごすこの時期を大切に育んであげたいとおっしゃった校長先生のお話が印象的でした。

日本語補助員の皆さんには学校へ行ってサポートいただいたり、日本語サロンではボランティアの皆さんが生活に密着した日本語、日本文化が学べるようにお手伝いしています。今回は、八木小学校の先生方にも、研修の内容だけではなく、国際親善協会の活動を知っていただく良い機会となりました。（広報部会 三森すみ代）

世界の民族衣装

カンボジア編



カンボジアはインドシナ半島南部に位置し、ベトナム、ラオス、タイに囲まれています。国民の90%以上がクメール語を話し、仏教徒であるクメール人が住んでいます。

今回、クメール伝統民族衣装のジョン カベンを着て登場して下さったのが外交官のサムアットさんです。田尻町の国際交流センターで日本語研修を受けるため来日されていました。今年春に滞在中の外交官の皆さんをお茶会に招待する機会がありました。サムアットさんもパーカーにジーンズの休日カジュアルスタイルで参加してくださいました。

ジョン カベン (ច័ងក្រីន)

今回クメールの民族衣装をピシッと着て正装で現れたサムアットさんが、初対面の時とはガラリと変身していたので驚きました。とてもカッコいいです。歴史ある民族衣装には、着る人をより崇高に輝かせる不思議なパワーが宿っているのですね！



サムアットさんが履いているパンツスタイルのジョン カベンは、約3メートルの大きな布（腰巻き）です。腰巻きの裾をふんどしのように股下から通してお尻に回し、背中中のウエストに差し込んで固定して装着します。

素材はシルク。黄金繭とも呼ばれるカンボジア在来種の黄色の蚕繭から得る上質な絹糸を、天然染料で染めて表現する緯縞が、クメール絹縞の特徴です。

染織技術に裏打ちされた優れた縞作品の伝統は、1970年代に始まった内戦とポル・ポト政権下の圧政により、壊滅的な打撃を受け消失してしまったため、20世紀初頭の素晴らしいアンティーク作品は残念ながらほとんど残っていないとのことでした。

これからも引き続きカンボジアの人々が明るく平和で暮らせますよう！

(新矢由紀)



3人の女子大生が岸和田で日本文化を満喫

カザフスタン、スリランカ、バングラディッシュの彼女たちは関西国際センターで各国の成績優秀者として、訪日研修中。センターでの対面式の際「本日はお世話になります。どうぞよろしくをお願いします。」と流ちょうな日本語で挨拶。私が、「今日の予定は浴衣を着る体験をします。その後、岸和田城やだんじりを見ます、そして、家で夕食です。私の日本語でわからない事があれば、質問してくださいね。」「はい大丈夫です。」と彼女たち。「日本語上手ですね。日本には何度も来ているのですか？ 留学はしましたか？」と私。そこでとんでもない回答が。「いいえ、3人とも日本は初めてです、今日で3日目です。」



初めての握り寿司

衝撃で始まったホームビジット。移動の車中の会話も、日本人3人を車に乗せている感覚。途中のスーパーで彼女たちが買ったのは握り寿司。カザフスタンには海がないので、ぜひ日本に行ったら握り寿司が食べ

たかったとのこと。

KIMONOクラブの協力を得て着替えた浴衣姿がお似合い。日本語でおしゃべりしながら五風荘の日本庭園を散歩。

帰宅して、モンゴル人で日本在住8年の友人(彼女は日本語検定N1)と一緒に夕食。「どうしてそんなに日本語できるの？ 私なんか8年もいるのにまだまだ。たった3日で信じられない」とすると、また衝撃の回答が。「私は日本の映画を見てそれで日本のことを知りたくなり、日本語、日本文化の勉強を始めました。」「何の映画？」「山田裕貴の『あの頃君を追いかけた』です。」「いい映画ですよ、ぜひ見てください。」



KIMONOクラブに参加

映画、アニメ、日本のポップス音楽などから日本に関心を持ち、はるか遠い国の日本語をマスターしてきた彼女たちの熱意に感動したホームビジットでした。(内田満弥)



左:サンジャナさん(バングラディッシュ) 中:リヤナゲさん(スリランカ) 右:メディナさん(カザフスタン)

ホームビジット 2023.09.09

はじめてのホームビジット受け入れ

アルゼンチンからゴンザロさん、コートジボワールからヤオさんが我が家を訪問されました。私たち家族にとって海外からの受け入れは初めての経験で、当日までドキドキ・ワクワクしながら準備をしていました。一番心配していたのは食事!あれこれ考えた末、お好み焼きと焼きそばを作ることに。ホットプレートにテーブルを置き、作る場所を見てもらいました。お好み焼きの上にチーズを乗せたり、中にお餅を入れたり、色々な食べ方に挑戦してもらいましたが、どれも、「美味しい」と言ってたくさん食べてくれたのでホッとしました。食後にゴンザロさんがアルゼンチンでよく飲まれているマテ



関西国際センターで対面

茶を振舞ってくれました。急須

に入れるだけかと思いきや、ストローを挿して少しずつお湯を入れ、一人が2~3口飲んだら次の人に回すという、伝統的な飲み方を初めて見させて頂き、びっくりしました。このような機会がなければ知ることがなかった他国の文化を生で体験することができたことに感動!



マテ茶

そして最終日の終了式・歓送会では更に多くの国から来られた研修生に会うことができ、日本で体験したことや日本の好きなところを目を輝かせて語ってくれていたことが印象的でした。一緒に出席した小学2年生の娘も皆に話かけられてとっても楽しそうな様子。きっとこの先も、家族がこの時の思い出話をするんだろうなあと思います。(畑良子)



修了式で研修生と一緒に



七夕のお飾り みんなで作ったヨ!

日本語サロン東岸和田



日本語サロン箕土路



テキストを見ながらねがいごと自分で書きました!



ロクさん (Sosefo Amato Lolomanaia) トンガ王国

06.17 土

ロクさんは異母兄弟を含む14人の大家族で育った。高校卒業後、軍隊に入隊し現在に至っている。トンガはポリネシア地域のフィジー諸島の東方にあり4郡の諸島で構成され、日本の対馬と同程度の大きさである。首都はトンガタブ諸島のヌクアロファでトンガの人口は 2021年時点、104,494人で、国民の 70 %が本島のトンガタブ島に居住。



で軍隊でも行われる。

飲み物としては「カバ」があり、トンガのノンアルコール国民的飲料でリラックasできる。との説明があった。彼の服装は正装で上着は背広風だが正装のときに腰に巻く前掛けのような「タオバラ」を付けて、下衣は巻きスカート状の「トゥペ

ヌ」と呼ばれる衣装を着用していた、これは男女とも着用すると聞いた。

トンガの歴史は先史時代から始まり 10世にトンガ王国があったとの記録が残る。現在に至るまで王制が残る唯一の島でもある。イギリス海軍のジェームズ・クックの到来等で大英帝国の一部に組み入れられ、その後1970年6月4日にイギリス連邦内の独立国となった。

軍隊での彼の任務は「トレーニング・コマンド」と言っていた。また、「シピタウ」も軍隊で行われおり、部隊の交代時等に行われる動画に彼も参加して



いて大変迫力があつた。スピーチ前の打ち合わせで大柄な彼と握手したが、優しい握手と、その後の丁寧なスピーチに彼の人柄を感じました。(鯉谷納)

ラグビーの試合前に行われる「ハカ」のようなものがトンガにもあるが、トンガでは「シピタウ (SIPITAU)」と呼ばれ、あらゆる闘いの前に行われる神聖な儀式



キンタニジャ・ヘクターさん (Quintanilla Hector) メキシコ

07.15 土・08.19 土

2回にわたりヘクターさんがゲストとして、スピーチしてくれました。

7/15 ゲストは2月の泉州国際マラソンを力走されたヘクターさんです。アメリカ生まれのメキシコ人、大阪市内のインターナショナルスクールで10年間、教師をされています。

8/19 1・Running 2・Cultural shock 3・Family 4・Heritage この4つの構成で話を頂きました。

ゴミポイ捨て防止キャンペーンの標語「Don't Mess with Texas」が有名なテキサス州ヒューストンで両親と3人兄妹で幼い頃を過ごしました。その当時知り合いだった日本人家族には、日本に来てから大変お世話になり第二の家族になったようです。

まず彼がとってもランニングを愛していることが伝わりました。大会で記録が伸びる喜びが伝わってきました。お父さんと出場した大会の写真は、二人が笑顔で写っており、ヘクターさんもうれしそうに話をされていました。家族愛の強さが印象に残っています。



その後、山が多く「山々の町」として知られるメキシコのモンテレイに移ってから日本語を学び始めました。いきなり日本のコメディアン「ダウンタウン、志村けん」にはまり、俳句など短文での表現や以心伝心など日本語や日本文化のよさを知ったそうです。日本通で英語、スペイン語、フランス語、日本語をマスターされているヘクターさん。



愛する家族を紹介するヘクターさん

メキシコ・アメリカ・日本の違いを服装の色・柄の違いで説明してくれました。国の性格が伝わってきました。また、日本人の特有の仕草をうまく真似たところは、笑いました。その観察力にはとても感心します。非常にわかりやすく、楽しいスピーチを聞くことができ、ユーモアたっぷりのお話は本当にたのしかったです。

コロンビア大学で心理学、言語学と関連の深い認知科学 (Cognitive Science) を専攻の後、日本に来られました。アイデンティティ・ホームタウンズは、アメリカ、メキシコ、日本が三分の一ずつで残りの1パーセントは宇宙人とのことです。アメリカ、メキシコでも人気の野球は広島カープのファンで、阪神タイガースでなくてごめんなさいとのこと。とにかく楽しいプレゼンテーションで、あっという間に予定の時間を終了しました。(松端良之)



お気に入りのTシャツ

機会があれば、マラソン大会で会えること楽しみにしています。(横田直樹)





久米田池夏祭りに参加しよう!

ランタン作りで参加しよう! (7/9)



祭り当日に久米田池の遊歩道に飾られるランタンを作りました。日本語サロン生とその家族も含め、24人が参加。材料は紙袋と色付きビニールなど、祭りの夜は紙袋の中に電球を入れてランタンになります。みんなそれぞれ、ピカソやモネになった気分で作りはじめます。ブドウやバナナの模様もあり、ステンドクラスのような作品も、特急ラピートを描いた小学生もいます。さあ、祭りの夜はどんな風に久米田池に映えるのかな。



点灯時のイメージ

こんなのができたよ!

浴衣を着て久米田池夏祭りに参加しよう (8/5)



「私の名前はアインです」

日本の夏は浴衣です。インドネシアや中国、ベトナム出身の日本語サロン生が浴衣を着ます。初めて着る人は少し不安顔でしたが、KIMONOクラブが準備してくれた浴衣を着せてもらえば、みんなはもう笑顔いっぱい。襟や裾がはだけないように注意しながらの畳の正座は初めての経験。



男性たちは緊張さみ

普段は異なる日本語サロンに通っているので、初めて会う人もいて日本語で自己紹介。みなさん、とても日本語が上手です。

打ち上げ花火の会場の久米田池まで、慣れない草履や下駄で歩きます。激しい雷の夕立が通り過ぎた会場は熱気でいっぱい。



浴衣で勢ぞろい

いよいよ花火の打ち上げの時です。池の対岸から打ち上げられる花火は、池の水面にも映し出され、最高の時となりました。浴衣姿で打ち上げ花火を見た経験は、きっと日本の良い思い出になったことでしょう。(事業部会 内田満弥)

Informations

■ふれあい交流祭り
(と き) 11月23日(祝・木)
13:00~16:00
(ところ) 関西国際センター(泉南郡田尻町りんくうポート北 3-14)
*できるだけ電車・バスをご利用ください

■English Open Café
各国からのゲストをお招きし、英語でプレゼンをしていただき交流を図ります。
(と き) 9月以外の第3土曜日 13:30~15:30
(ところ) マドカホール 3階 視聴覚室
(費用) 無料 *事務局へお申込みください。(先着20名まで受付)